



大地の恵みを人が奏でる だれやめの郷

広報

いさ



◎特集

AEDで助かる命

2015.9

ISA City Public Relations No.163

【3】 AEDを使って電気ショック

ふたを開けると
でんげん
電源が入るものも
あるよ!



手順 2 電極パッドに描かれている
位置に貼ります。

- ・ペースメーカーなどを避ける
- ・子ども用パッドか小児モードに切り替える

手順 3 AEDが心電図を自動解析、
音声などで指示をだします。

- ・心電図の解析を始めたら離れる

しっかりと皮フに密着
するようにはるのだ!



はなれて!!
ふれちゃダメだよ!



ショックボタンを
お
押す!



感電に
注意

手順 4 電気ショックが必要な場合は、
充電が終わるのを待ってボタン
を押します。

- ・倒れた人に誰も触れていないことを確認する
- ・音声ガイドに従ってボタンを押す

手順 5 電気ショック後は、すぐに心臓マッサージを再開します。

- ・AEDは再度電気ショックが必要か解析する

回心停止の際の応急処置は「秒」を争います。一刻も早く救命処置を始めないと、助かる可能性がどんどん低下していきます。

回仮に心停止ではなかったとしても、心臓マッサージによって、状態が悪化することはありません。倒れている人が反応したら中止しましょう。

回AEDには、診断機能がついていて、必要のない電気ショックを与えることはありません。倒れた人に反応がなかったら、恐れずに行動を開始してください。

回AEDは確実な心肺蘇生法と合わせて効果が発揮されます。万が一に備え救急講習を受講しましょう。

引用：公益財団法人 日本心臓財団（最終アクセス 2015 年 8 月 10 日）
〈<http://www.jhf.or.jp/aed/>〉

- ▼官公署
 - ・伊佐市役所（大口庁舎）
 - ・伊佐警察署
 - ・菱刈分遣所
 - ・大口消防署
- ▼スポーツ施設
 - ・伊佐市総合体育館
 - ・伊佐市体育センター
- ▼学校・教育機関
 - ・大口小学校
 - ・牛尾小学校
 - ・平出水小学校
 - ・羽月北小学校
 - ・曾木小学校
 - ・菱刈小学校
 - ・本城小学校
 - ・湯之尾小学校
 - ・菱刈中学校
 - ・旧山野中学校
 - ・伊佐農林高等学校
 - ・あゆみ保育園
 - ・大口里保育園
 - ・羽月保育園
 - ・みどり保育園
 - ・本城保育園
 - ・田中保育所
 - ・本城幼稚園
 - ・大口東小学校
 - ・山野小学校
 - ・羽月小学校
 - ・羽月西小学校
 - ・針持小学校
 - ・田中小学校
 - ・南永小学校
 - ・大口中央中学校
 - ・旧大口南中学校
 - ・大口高等学校
 - ・大口明光学園
 - ・大口保育園
 - ・紅洋保育園
 - ・明德寺保育園
 - ・慈光保育園
 - ・湯之尾保育園
 - ・大口幼稚園
- ▼集会施設等
 - ・大口ふれあいセンター
 - ・山野西文化交流館
 - ・ひしかり交流館
 - ・湯之尾校区集会施設
 - ・菱刈ふるさといきがいセンター
 - ・菱刈環境改善センター
 - ・曾木の滝観光拠点施設
 - ・十首青少年旅行村管理棟
 - ・十首青少年旅行村
 - ・楠本川溪流自然公園
 - ・田中校区集会施設
 - ・本城校区集会施設
- ▼医療機関等
 - ・北薩病院
 - ・松元病院
 - ・大口温泉リハビリテーション病院
 - ・有村クリニック
 - ・古川医院
 - ・下田医院
 - ・坂元内科
 - ・菱刈中央医院
 - ・こうき歯科
 - ・寺田病院
 - ・日高内科
 - ・大口病院
 - ・松崎医院
 - ・水間病院
 - ・つよクリニック
 - ・中村産婦人科
 - ・伊佐市医師会
- ▼保健・福祉・介護施設
 - ・大口元気こころ館
 - ・大口温泉高熊荘
 - ・子育て支援センター ルピナス
 - ・子育て支援センター まむさるーん
 - ・子ども発達支援センター たんぼぼ
 - ・活動支援 学童ステップ
 - ・トータルサポートセンター
 - ・星空の里
 - ・千鳥園・啓明園
 - ・まごし館
- ▼事業所等
 - ・住友金属鉱山株式会社 本山坑事務所
 - ・住友金属鉱山株式会社 山田坑事務所
 - ・MGM大口店
 - ・ダイナム大口店
 - ・ジャパンファーム 大口養豚事業本部
 - ・パーラー第3京極
 - ・大口電子
 - ・大口酒造 本社
 - ・大口酒造 第二蒸留所
 - ・J A 伊佐総合支所
 - ・J A 菱刈支所
 - ・日本ピュアフード
 - ・ドコモショップ大口店
 - ・曾木の滝温泉センター

※この他の設置場所については、各施設等にご確認ください。
参考：○伊佐市AED配置状況調べ（2015年8月現在）
○伊佐湧水消防組合ホームページ
（最終アクセス 2015 年 8 月 10 日）

AEDとは、Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略で、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って除細動（＝傷病者の心臓に電気ショックを与えること）を行う装置です。

AEDは自動的に心電図を診断し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断しますので、医学的な知識が少ない人でも音声ガイダンスに沿った操作で救命処置ができます。

※最近では聴覚障がいを持つ人のために、音声ガイド以外に液晶表示機能をつけた機種もあります。

9月9日は「救急の日」



AEDで助かる命

勇気ひとつで、人を救うことができる。

AEDを使った救命の方法

反応確認と119番通報・AEDの要請

【1】

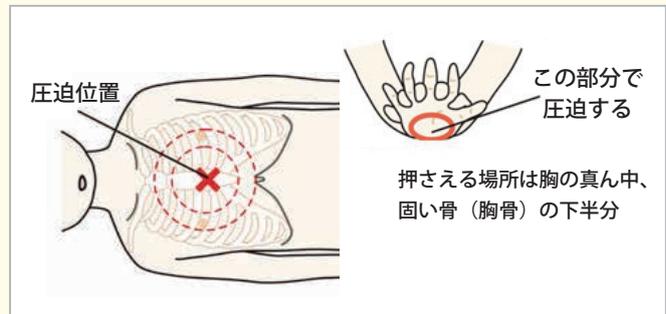
肩をたたきながら「大丈夫ですか？」と声をかけます。動きや返事がなければ、大きな声で人を呼び、119番通報とAEDを持ってくるよう頼みます。



呼吸の確認と心臓マッサージ

【2】

倒れた人を仰向けにし、10秒以内に胸やおなかの動きをみます。呼吸がない・通常の息をしていない時は心臓マッサージを行います。



「強く」 胸が5cm以上沈むまで体重をかけて押し下げ、すぐにゆるめる。

「早く」 1分間に100回以上押す。

「絶え間なく」 倒れた人が動き出すか、救急車が来るかAEDが届くまで続ける。

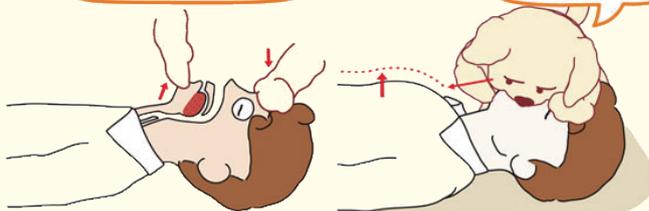
人口呼吸ができるなら

気道を確認し、鼻を軽くつまんで口から息を吹き込む。

心臓マッサージ30回
に人口呼吸2回

あごの先を持ち上げて、
頭を後ろに反らせて！

胸が上がっているかな？



特別
企画

「榎木孝明氏講演会」

日時 11月9日(月) 14時開会

会場 大口高等学校体育館

※どなたでも入場できます。

入場料 無料(要整理券)

楽しみ~



伊佐市夏祭りで、劇に登場する『かぶりモノ』をかぶって「いさ演劇祭」をPRしました!

第30回国民文化祭・かごしま2015
伊佐市主催事業「いさ演劇祭」

「いさ演劇祭」入場整理券配布



▶ 演劇『紙屋悦子の青春』 会場 伊佐市文化会館

11月7日(土) 18:30 開演

11月8日(日) 11:00 開演 / 15:00 開演

▶ 『榎木孝明氏講演会』 会場 大口高等学校体育館

11月9日(月) 14:00 開会

▶ 演劇『カンヅメ少年と「いざ!」いさ宝さがしの旅』

会場 伊佐市文化会館

11月14日(土) 13:30 開演、15日(日) 13:30 開演

入場整理券 配布場所

- 伊佐市役所(大口・菱刈庁舎)
- 伊佐市文化会館
- 大口ふれあいセンター
- 菱刈図書館
- 菱刈環境改善センター

※入場整理券は無料です。
(日時指定あり)

※未就学児童の入場はできません。(演劇公演は託児あり)

※整理券配布は無くなり次第終了し、当日券はありません。

詳しくは、市ホームページ「いさ演劇祭」特設ページをご覧ください。

問い合わせ先 文化スポーツ課文化係 ☎231311

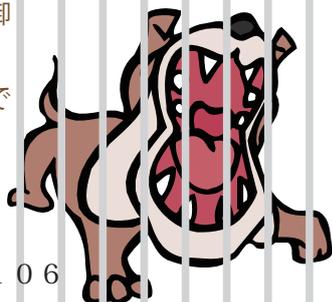


お早めに

大型犬等の飼い方

北海道で民家訪問者が犬に咬まれて死亡する事故が起きました。大型犬や過去に人を咬んだことのある犬の場合、事故の被害が大きいためから次の飼養方法が定められています。

- ① 大型犬等は人への危害防止の観点から施設内で飼うこと
- ② 施設はカギのできるオリで、子どもが簡単に開けられないこと
- ③ 突発的な事故防止のためオリやカギは常に点検すること
- ④ 適度な運動をさせて、犬にストレスがたまらないようにすること
- ⑤ 大型犬等を運動させる時は犬を制御できる人が行うこと
- ⑥ 出産時期等は粗暴になりやすいので管理を怠らないこと
- ⑦ もし人を咬んだ時は保健所に届け出ること



問い合わせ先 大口保健所 ☎235106



貝の標本展示中

菱刈ふるさといきがいセンター2階の資料館では、古川美年生先生(湯之尾出身)寄贈の貝の標本3,300個、大型貝の標本130個を常設展示しています。

ぜひご覧ください。

問い合わせ先
社会教育課文化財係

☎261554

よりそいホットライン (24時間年中無休電話相談)

どんな悩みにも寄り添い、電話相談員が一緒に解決する方法を探します。

ひとりで抱え込まず、お電話ください。

相談内容

生活、仕事、住居、自殺念慮、家庭、お金、病気、障がい、犯罪、DV・性暴力、法律・法的手続き、行政・その他の諸手続き、教育、人間関係、外国籍、被災地・原発、その他



よりそいホットライン

☎0120・279・338

音声ガイダンス

相談したいことを選んでください。

- 1 暮らしの中で困っていること、気持ちや悩みを聞いて欲しい人
- 2 外国語による相談
- 3 性暴力、ドメスティックバイオレンスなど女性の相談
- 4 性別や同性愛に関わる相談
- 5 自殺を考えるほど思い悩んでいる人
- 8 被災者で困っている人

※24時間通話料無料。携帯電話（PHS）、公衆電話からもつながります。

詳しくは、一般社団法人社会的包摂サポートセンターホームページ (<http://279338.jp/>) をご覧ください。

歯や口のことで困っていませんか

在宅歯科医療連携室では、専任の歯科衛生士が歯やお口のことで困っている人と歯科医院をつなぐ橋渡し役をしています。

居宅、施設、病院等の寝たきり要介護高齢者等で口腔内に問題を抱えている人に対して訪問歯科診療を行っているお近くの歯医者さんを紹介いたします。まずはご相談ください。

相談先

在宅歯科医療連携室（県歯科医師会口腔保健センター内） ☎099・223・0378

受付時間：平日9時～17時

全国一斉

「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」

相談内容は問いません。法務局職員または人権擁護委員が相談に応じます。

実施機関 鹿児島地方法務局・鹿児島県人権擁護委員連合会

期 間 9月7日（月）～13日（日）

時 間 平日 8時30分～19時
土・日 10時～17時

電話番号 鹿児島地方法務局全国共通ダイヤル
☎0570・003・110

※IP電話からは接続できません。

問い合わせ先 鹿児島地方法務局人権擁護課
☎099・859・0684

無料調停相談

日 時 9月12日（土）10時～15時

場 所 霧島市国分総合福祉センター2階研修室・会議室

相談員

鹿児島家庭裁判所加治木支部調停委員

相談内容

婚姻・離婚・夫婦関係・親子関係・扶養・遺産相続・その他、親族関係等問題に関する調停手続きの相談

土地・建物の売買譲渡、土地の境界等民事上のトラブル、金銭の貸借関係、破産・交通事故に関する紛争などの調停手続きの相談

問い合わせ先

鹿児島地方・家庭裁判所加治木支部内加治木調停協会（担当：成瀬）

☎080・5604・2879

悩まず

相談

してみよう

相談の内容については、秘密厳守です。

平成 27 年 10 月 1 日、**国勢調査** を実施します

◎国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。

◎平成 27 年国勢調査は、少子高齢化社会にある日本の未来を描くために、なくてはならないデータを得るものです。このため今回調査の役割は、これまで以上に重要となります。



◎今回の調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった世帯には紙の調査票を配布します。紙の調査票は、調査員に直接お渡しいただくか、郵送でも提出できます。

個人情報厳格に保護されます

- 国勢調査では、統計法によって厳格な個人情報保護が定められています。
- 国勢調査員は、封をした調査票については封筒を開封せず、封をしたまま市へ提出します。
- 国勢調査に従事する者には、統計法による守秘義務が課せられています。

問い合わせ先 企画政策課政策第1係 ☎231311

--- 男女共同参画社会 --- **女性の公職参加状況**

伊佐市男女共同参画基本計画では、平成 32 年度までに、委員会・審議会等委員の女性登用率の目標値を 30%と設定しています。審議会委員の一般公募などにより、女性委員が増え、女性自身が積極的に団体に属し活動できるよう、市役所全体で取り組んでいます。

また、自治会やコミュニティ、PTAなど地域の身近な団体で「みんなのために」女性の発案で実行できる活動を、各方面から支援していきます。

女性の公職参加状況（年度末調べ）

年 度	21	22	23	24	25	26
審議会等数	50	50	50	48	48	51
女性委員のいる審議会等数	41	41	41	41	42	45
委員総数(人)	642	655	686	657	653	690
女性委員数(人)	137	136	146	141	143	153
女性委員比率(%)	21.3	20.8	21.3	21.5	21.9	22.2

▼平成 27 年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ



「デートDV」資料展

日 時 9月20日(日)
場 所 大口明光学園

恋人など交際相手からの暴力行為は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。ひとりで悩まず、がまんしないで相談してください。

女性サロン室

あなたが自分らしく生きるために、一緒に考えます。

ぜひご利用ください。

開催日 9月2日(水)・16日(水)
時 間 13時30分～16時
場 所

大口仲町旧安楽ヨシ子様宅
女性サロン室連絡先

☎090・3016・3660

まちの話題



県内初受賞「お茶の西本園」



「ビジネス界のアカデミー賞」と称されているアメリカの世界的なビジネス賞「スティービー賞」において、2015年「アジア・パシフィック賞」に推薦された13か国300社以上の中からお茶の西本園（西本國昭さん山野）が銅賞に輝きました。

これは県内初の受賞で、40年以上無農薬で土づくり・除草などに取組む栽培管理などが評価されました。

全国グラウンドゴルフ大会出場 (9月5・6日 山形県)



①大口虎会 ②大口忠元紅

〈敬称略〉

写真前列左から

東徹子②

水野タエ子②

上ノ原典子①

坂口アイ子①

篠原喜代子②

写真後列左から

大山洋武①

篠原義隆①

畑山光則②

山之上守①

川崎虎男①

8月15日、多くの方の尊い命が失われた先の大戦に終止符が打たれてから70回目の「終戦の日」。伊佐市文化会館で行われた戦没者追悼式には、遺族ら約160人が参列しました。

会場ではラジオ放送があり、正午の時報に合わせ全国一斉に1分間の黙とうを捧げました。

式典では、参列者の代表らが平和への思いを述べ、全員で献花を行いました。

遺族の高齢化が進み参列者の数は年々減少しています。犠牲者の方々の冥福を祈り、平和を願う決意を表すために、遺族の世代交代だけでなく、次代を担う世代にも平和の大切さを伝えていく必要があります。

戦没者追悼式（表紙）



「遊々の森」協定



7月30日、針持にある広葉樹林4.5haを対象に里山の整備・再生を行い、人と自然が共生する環境を守るために、NPO法人「しいのきの森小床」と北薩森林管理署が協定を結びました。

協定を結ぶことで、さまざまな体験活動や学習活動を行う場所として国有林を継続的に利用できる「遊々の森」制度を活用できます。

これを通じ、地元住民の交流はもとより、子どもたちの幅広い知識の習得を行う森林環境教育の場としても期待できます。

反核・平和の火リレー



7月30日、広島平和記念公園の「平和の火」が点いたトーチを掲げ、自治労の若手組合員が市内約2kmを疾走しました。県内を走り継ぐ「反核・平和の火リレー」は南九州市で始まり、大島のゴールをめざして県内約500kmをリレーしました。

夏祭りにイーサキング登場



7月25日に伊佐市夏祭りが開催され、園児らの神輿パレード23団体(800人)や踊り連36団体(1630人)が祭りを盛り上げました。

また会場ではダンスコンテストのほか、ゲームソフト開発会社「サクセス」とのコラボ企画で、ゲームのキャラクターになったイーサキングも登場し、全国に向け伊佐の魅力を発信中であると「ドヤ顔」で観客に紹介しました。

※コラボ企画は8月18日終了。

新規就農 励ましの会



7月17日、菱刈環境改善センターにおいて、『ニューファーマーのつどい』が開かれました。

今年度は8人が就農し、自己紹介とこれからの意気込みや思いを語りました。

〈写真左から〉

- 田畑さん(羽月) 根深ねぎ
- 島口さん(羽月西) 有機野菜
- 長谷川さん(大口) 園芸・水稲
- 築瀬さん(大口) 畜産
- 諏訪さん(大口) 野菜
- 轟木さん(大口) 野菜
- 〈写真なし〉
- 茅原さん(菱刈) 畜産・水稲
- 篠原さん(大口) 野菜

大口明光学園吹奏楽部



7月末に県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、昨年に引き続き2年連続で南九州小編成吹奏楽コンテストへの出場権を獲得しました。8月11日に宮崎市で行われたコンテストには南九州各県から推薦された13校が出場。大口明光学園は見事金賞を受賞しました。

曾木大橋の撤去状況



平成26年12月から始まった曾木大橋の撤去作業は、今年4月で一時中断しています。5月～9月の洪水期は安全に配慮し工事はお休みです。

当初予定された工事期間は3年。安全に確実に、見るたび橋が小さくなっています。

撮影日は7月15日。梅雨の合間の青空と迫力の水量です。橋は撤去されるのですが、見ようによっては新しく橋を架けているようでもあります。

8月10日「道の日」



大口建設業組合による市内道路の草払・立木伐採で、きれいに清掃していただきました。ありがとうございました。

(略称・順不同)

藤井建設・ミタカ建設・中村・高江組・共同設備工業・瀬崎建材・フジスミ産業・開成工業・富士建設・松永工業・國玉建設・内田工業・松本建設・丸田組・丸光建設・徳永電気水道設備・林建設・伊佐建設・鍋倉工務店・瓜生島建設・成政建設工業・池上建設・山下運輸・新光建設・上松建設・小山金物店・南九クレーン・大菱・片平建設・片平工務店・共立土木・荒武工務店・鮫島建設・内田鉄工・服部建設・清水・廣憲建設・鎌田建設・瓜生島重機

喜界町青少年交流団



70年前の学童疎開が縁で姉妹都市盟約を結ぶ喜界町から小中学生と高校生で構成された「喜界町青少年交流団」28人が来市しました。

交流団は、疎開地であった本城地区で地元小学生らと歴史を学んだあと交流し、湯之尾温泉に宿泊。2日目は市内観光やカヌー体験などを行い、伊佐地区ツーリズム協議会会員の受入れ家庭に分かれ民泊しました。

受入れ家族と緊張の対面から一夜明けると島へ帰る日。短い時間でしたが家族のように過ごし、疎開時と同じく互いに別れを惜しんでいました。



110番だより

飲酒運転の根絶 飲酒運転は絶対にしない、させない！

飲酒運転による道交法違反は、運転者だけではなく車を貸した人やお酒を飲ませた人、一緒に車に乗っていた人なども処罰の対象となります。罰則は運転者と同様に厳しい処分があります。

酒酔い運転 無条件で…… 35点 欠格期間3年 免許取消し	酒気帯び運転 <small>呼気中アルコール濃度 0.25mg/ℓ以上</small> 25点 欠格期間2年 免許取消し <small>呼気中アルコール濃度 0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満</small> 13点 免許停止 90日
欠格期間の上限は10年! <small>酒酔い運転をした場合 3年</small> <small>死亡事故を起こした場合 7年</small> <small>ひき逃げをした場合 10年</small>	

※欠格期間とは、運転免許を取り消された場合に、運転免許を受けることができない期間。欠格・停止期間は前歴なしの場合、免許取消は15点以上。

運転者にも運転者以外にも厳しい罰が!

運転者 酒酔い運転 5年以下の懲役または 100万円以下の罰金	車両の提供者 酒気帯び運転 3年以下の懲役または 50万円以下の罰金	酒類の提供者・車両の同乗者 酒酔い運転 3年以下の懲役または 50万円以下の罰金 酒気帯び運転 2年以下の懲役または 30万円以下の罰金
--	---	---

「ハンドルキーパー運動」
ハンドルキーパーとは、自動車仲間と飲食店など行く場合に、お酒を飲まない人を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



問い合わせ先 伊佐警察署 ☎0110



戦後70年「縁と絆」記憶の風景と未来をたどる

交流53年の軌跡①

「姉妹都市盟約」

昭和37年（1962）11月9日
（菱刈町）・10日（大口市）

西之表から訪れた市長ら20人の使節を、花火と菱刈小学校鼓笛隊の演奏で出迎え、盟約式会場の中央公民館までの沿道には日の丸の小旗をもった大勢の人が集まった。

「友情の黒松」

昭和38年（1963）3月28日
学童疎開の縁は年とともに心のつながりを成長させた。これを形の上でも成長させるため、菱刈町から黒松の苗5千本を西之表市に贈呈。菱刈町長ら4人の使節も参加し記念植林が挙げられた。

「夏休みに親善訪問」

昭和41年（1966）7月25日
菱刈町内の小中学生15人が、親善交歓団として夏休みを利用し初めて西之表市を訪れた。3泊4日の日程で地元児童らと交流、島の観光や史跡などを見学した。

「平出水のソテツ」

昭和63年（1988）9月15日

平出水に疎開していた西之表横山地区から、疎開43周年を記念し平出水小学校とその校区内にある止神神社にソテツが植樹された。

「西之表集中豪雨災害」

平成13年（2001）9月2日
豪雨発生から一週間にわたり断水が続いていた。大口市から大量の飲料水を運び込み、大口市職員と商工会職員は西之表市職員と連携し、市内各地に飲料水の搬送を行った。西之表消防署には大口消防署職員が災害援助に向かい、消防活動に従事した。

発生からおおよそ1か月後には、大口市から職員2人を2か月間、災害調査の応援として派遣した。

「盟約40周年記念式典」

平成14年（2002）11月10日
姉妹都市盟約後は相互に訪問し交流を深め、40周年にあたる年には大口・菱刈の代表者が西之表市を訪れ、記念式典が行われた。

次回、姉妹都市交流の軌跡②

問い合わせ先 伊佐PR課交流PR第1係 ☎4113



9月24日～30日「結核予防週間」



結核とはどんな病気

結核菌という細菌が体の中に入ることによって起る病気です。主に肺の内部が増えて、肺が腫れてしまっています。進行すると肺が壊れていき、呼吸する力が低下します。

結核の初期症状はカゼと似ていますが、せき、痰、発熱（微熱）などの症状が長く続くのが特徴です。

結核はどう感染するの

結核を発病している人が、せきやくしゃみをするとう結核菌が飛び散り、それを他の人が吸い込むことで「感染」します。結核菌を吸い込んでも必ず「感染」するわけではありません。多くの場合、体の抵抗力によって追い出されます。また、「感染」しても必ず「発病」するわけではなく、通常は免疫力によって結核菌の増

殖を抑え込みます。免疫力で結核菌の増殖を抑えきれなくなると結核を発病します。

もし結核に感染したら

注意をしていればそれほど怖がる必要はありません。2週間以上、せきや痰、微熱が続くようでしたら、医療機関を受診しましょう。結核と診断されても、きちんと薬を服用すれば治ります。ただし、治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示された通りに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力（耐性）をもってしまい、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまいます。可能性があまりありません。



きちんと服用しましょう

結核を予防するには

免疫力が低下しないように栄養バランスの良い食事と十分な睡眠、適度な運動など、規則正しい生活を心がけましょう。

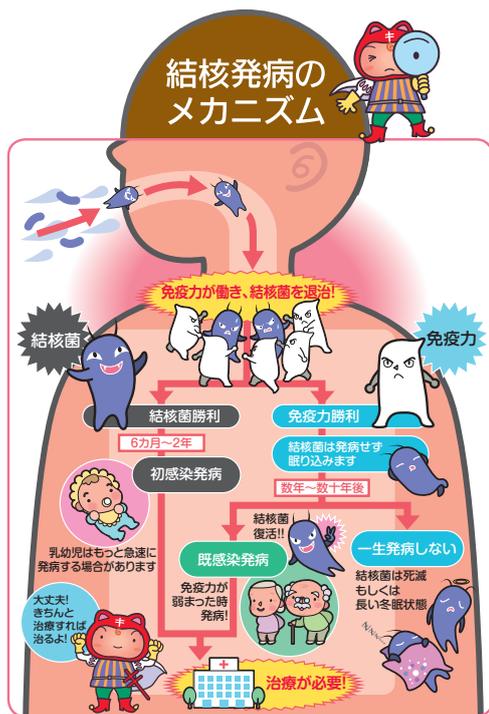
結核という病気は早期発見・早期治療が重要です。胸部X線検査で、結核を発病していないかどうかを確認できます。自分の健康状態を把握するためにも年1回は結核検診を受けましょう。

市では11月～12月に65歳以上で肺がん検診未受診の人を対象とした結核検診を行います。詳しくは「広報いさ」11月1日号をご覧ください。



結核菌に負けない体になりましょう

結核発病のメカニズム



イラスト：公益財団法人結核予防会パンフレット

問い合わせ先 健康長寿課健康推進係 電話 1311



以前ご紹介した「田東山」^{たつがねさん}につづき、今回は、南三陸屈指の景勝地「神割崎」^{かみわりさき}をご紹介します。むかしむかし、この岬をまたいで二つの村（長清水浜と十三浜）がありました。

ある日、岬の浜に打ち上げられた大クジラを取り合って争いが起きたそうです。その夜、あろうことかクジラと岬が2つに割られていました。両村の人々は神様が岬を割り、争いの仲裁をしたのであろうと信じ、以来この岩の割れ目が村境になったと伝えられています。

神割崎の見所は、割れた奇岩の間から押し寄せる迫力の波しぶきで、「日本の白砂青松百選」に選ばれています。また例年2月中旬と10月下旬に岩の裂け目から日の出を望むことができます。こちらにお越しの際はぜひ「神割崎」にお立ち寄りください。

私の担当する住宅再建相談窓口も、防災集団移転用地（町建設の高台宅地）の完成に伴い、相談や補助金申請が増え、これまで以上に気を引き締め業務に努めているところです。9月中旬には伊佐に一時帰省する予定もあり、皆さんに会えることを楽しみにしながら、南三陸町復興のため頑張っています。（福田光一郎）



伊佐の味
からだに栄養

食生

おいしいものでいきいき笑顔になるなる

Vol.59

「ほっこり甘いさっぱりお菓子」

レシピ

「かごしまのおかず（開港舎）」より

ようかん

唐芋ようかん



〈材 料〉

唐芋（さつまいも） 中2個（正味 150g）
 そば粉 大さじ4
 牛乳 大さじ3
 小豆缶（砂糖入り） 1缶（190～200g）

〈作り方〉

- ①唐芋は皮をむき、1cm角に切って水にさらし、ざるにあげる。
- ②ボウルにそば粉・牛乳・小豆缶・唐芋を入れて、よく混ぜる。
- ③ラップを広げて②のをせて包み、レンジで8分ほど蒸す。
- ④熱いうちに巻きすに巻いて形を整え、冷めてから切る。

Welcome to Library

図書館へようこそ

【おすすめの一冊】（新刊全点案内より引用）

児童 びっくりおおかみ 佐々木マキ



（出版：フレーベル館）

ぶたの見つけた箱を、おおかみが横取り。箱を開けてみると、ぼわんと白いけむりが出て…おおかみは顔だけぶたになってしまった！

一般 水曜日の凱歌 乃南アサ



（出版：新潮社）

昭和20年8月15日、男たちは負け、今度は女たちの戦争が始まった。〈慰安婦〉として進駐軍へ差し出された彼女たちの苛烈な運命を、14歳の少女・鈴子は間近で見つめていく…。

【9月の図書館カレンダー】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ は休館日

○ はイベント

開館時間 火～土：9時～18時
日・祝日：9時～17時

【図書館へ献本】

加治屋 隆一さん（新川）
柘木 ハツエさん（石井）

おはなしボランティア

募集中！

子どもとお話の世界
を楽しみたい人なら
どなたでも

【今月の新刊本（抜粋）】

【 児童 】	
シルヴィーどうぶつえんへいく	ジョン・バーニンガム
ことらちゃんの冒険	石井桃子
せいめいのれきし改訂版	バージニア・リー・パートン
【 一般 】	
砂の街路図	佐々木譲
金魚姫	荻原浩
スカラムーシュ・ムーン	海堂尊

【イベント情報】

ふれあいメルヘンひろば

日時 9月26日（土）10:30～11:00

場所 大口図書館

内容 図書館ボランティア「ぎんなん」による大型絵本や紙芝居の読み聞かせ

ブックスタート

日時 9月26日（土）11:00～11:40

場所 大口図書館

対象者 伊佐市在住の2歳未満の赤ちゃんとその保護者及び出産予定の人

内容 絵本の読み聞かせや簡単な遊びなど。初めての人にはブックスタートパックをプレゼント

※ 前日17時までに大口図書館に申込みが必要です。

当日は母子健康手帳を持参してください。

問い合わせ先

大口図書館（大口ふれあいセンター内）

☎220417

菱刈図書館（菱刈ふるさといきがいセンター内）

☎263000



知っていますか「マイナンバー制度」

問い合わせ先 総務課行政係 ☎231311

住民票の住所と住まいは同じですか

10月以降、住民票の住所地にマイナンバーが記載された「通知カード」が送付されます。

今の住まいと住民票の住所が異なる人は、住所変更の手続きをお願いします。

次に該当する人

○東日本大震災による被災者で、住所地以外に避難している人

○DV、ストーカー行為等、児童虐待等の被害者で、住所地以外に移動している人

○一人暮らしで長期間、医療機関・施設に入院・入所している人

○その他、やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取ることができない人

○その他、やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取ることができない人

○その他、やむを得ない理由により住民票の住所地で「通知カード」を受け取ることができない人

8月24日～9月25日に、住民票のある住所地の市区町村に「居所情報登録申請書」を

やむを得ない理由により住民票の住所地で受け取ることが出来ない方は居所情報登録申請書を
8月24日～9月25日 (持参必須)
に住民票のある住所地の市区町村に持参又は郵送してください

登録はお早め!

※申請が必要な方

Point

東日本大震災による被災者で住所地以外の居所に避難されている方

DV、ストーカー行為等、児童虐待等の被害者で住所地以外の居所に移動されている方

一人暮らしで、長期間、医療機関・施設に入院・入所されている方

申請が認められた方は、登録された居所にあなたの「マイナンバー」をお知らせします。

持参または郵送（必着）してください。

申請書は市民課（大口庁舎）及び地域総務課（菱刈庁舎）にあります。また、市または総務省のホームページからダウンロードできます。

マイナンバー制度に関する問い合わせ先

☎0570・200・0178

（全国共通ナビダイヤル）

※平日9時～17時30分

（年末年始を除く）



あなたらしく生きる「人生の年輪」

相談・問い合わせ先 健康長寿課地域包括支援係 ☎232377

認知症の人の気持ちを理解する

『なにかおかしい』と最初に気づくのは本人

「認知症の本人は自覚が無い」「本人は何も分からないから、大変なのは周りだけ」という考えは大きな間違いで、認知症の症状を最初に気づくのは本人です。

もの忘れによる失敗がかさなり、周りから指摘されたとなります。「私は忘れていない」と怒り出す人「私どうかしたのかしら」とふさぎこむ人さまざまです。

この反応は、「私が認知症だなんて」というやり場のない怒りや悲しみ、不安に對し自分の心を守るための防衛反応ともいえます。

わたしたちができること

認知症の人の気持ちを本当に理解するのは難しいですが、この反応が認知症の人の隠された悲しみの表現であることを理解することで、接し方も変わってくるのではないで



しょうか。

認知症の人への対応 3つの心得

1、驚かせない

2、急がせない

3、自尊心を傷つけない

偏見をもたず、認知症は自分たちの問題であるという認識をもち、認知症の人を支援するという姿勢が大切です。

高齢者元気度

アップ・ポイント事業

9月の対象活動

○健康相談、子宮・乳がん検診



お知らせ

自殺予防週間

9月10日～16日は、自殺予防週間です。毎年、全国で約3万人、本県においても約400人が自ら命を絶つていきます。

自殺を考えている人は、気分が沈む・不眠が続くなどうつ症状がみられたり、原因不明の体調不良が続くなど、何らかの『こころのサイン』を発していることが多いと言われています。

自分の周りにいるかもしれない、『こころのサイン』を発している人に気づいたら、「あなたのことを心配しているよ。」と支える気持ちを声に出したり、ゆっくりと話を耳を傾けてください。また専門の相談窓口にご相談したり、医療機関（精神科・心療内科など）の受診を勧めてください。

問い合わせ先
健康長寿課健康推進係 ☎ 1311

敬老の日の無料入浴

大口温泉高熊荘とまごし温泉の利用料を無料にします。受付に申し出てください。



対象者
期 日 9月21日（月）

市内に住所を有する70歳以上の人（平成27年9月21日現在）
問い合わせ先
健康長寿課高齢福祉係 ☎ 1311

まごし館の屋根塗装工事

菱刈総合保健福祉センターでの検診等やまごし温泉は通常どおり営業します。工事関係の足場等にご注意ください。

工事期間 9月下旬～12月下旬
※工事期間中、男女の浴場は固定されます。
問い合わせ先
健康長寿課高齢福祉係 ☎ 1311

里親になってみませんか

子どもが明るく健やかに成長していくためには、温かい家庭が大切です。子どもの養育に理解と熱意、そして豊かな愛情をお持ちの人を里親として登録しています。

里親制度とは

親の事故や病気などさまざまな事情のため自分の家庭で暮らすことができない子どもを、家族の一員として家庭に迎え入れ、児童福祉法に基づいて養育をお願いする制度です。

11月に里親制度・募集に関する説明会を開催予定です。10月の広報紙をご覧ください。

問い合わせ先

子ども課子ども相談係 ☎ 5511
県庁子ども福祉課 ☎ 099・286・2771

中央児童相談所

☎ 099・264・3003

ダンスフェスティバル

i-Dance Japan 2015
国際コンタクト・インプロビゼーション・ダンスフェスティバル



十曾青少年旅行村で、世界各国、日本各地からダンス・アーティストや音楽家が集まり、コンタクト・インプロビゼーションという即興ダンスの合宿型フェスティバルを開催します。単発での参加も可能です。

開催期間 10月4日（日）～11日（日）
内 容

海外のアーティストによるワークショップ、公演、ジャム、研究会。伊佐市民による講座など。

10月10日（土）16時から、伊佐市文化会館大ホールで、ゲスト・アーティストらによる、ダンスと音楽の即興パフォーマンスを上演。

地域マルシェイベント ISA no BA も同時開催します。

※10月12日（月）は、鹿児島市のマルヤガーデンズ、レトロフトで開催。

詳しくは、ホームページ (<http://i-dancejapan.net>) をご覧ください。

◆地元サポーター・いさぼた募集

期間中の食事作り、参加者の移動サポート、写真・ビデオ撮影など、ボランティアを募集しています。お米、野菜などの差し入れ歓迎！

予約・問い合わせ先

コンタクト・インプロビゼーション・グループ C.I.C.O.（代表：かつべ）
☎ 090・3910・6716
✉ ci@cijp.com

9月の伊佐自然体験活動

「五感を使って体験しよう」

からだ遊び

第1部 声あそび・第2部 ダンス
日 時 9月20日（日）10時～15時
場 所 十曾子どもの森 フレンドハウス

対象者 未就学児から高校生までとその保護者

参加費 無料

持ってくるもの

お弁当、水筒、タオル、帽子

※9月15日（火）までに申込んでください。

申込・問い合わせ先

NPO法人トータルサポートネットワーク ☎ 080・2782・1139
子ども課子育て支援係 ☎ 1311

用水路へのゴミのポイ捨てはやめましょう

水路に空き缶などが捨てられると下流域の水路に集まり、水路の管理や環境面に悪影響を及ぼします。ごみの不法投棄はやめましょう。

問い合わせ先

環境政策課環境保全係 ☎21060

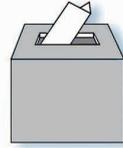
伊佐市農業委員会

委員選挙（予定）

※本国会で審議中の農業

委員会等に関する法律の一部改正が

告示日前に公布された場合、選挙は行いません。



告示日 9月27日（日）

投票日 10月4日（日）

◎立候補予定者説明会（立候補を予定している人はご出席ください。）

日時 9月11日（金）13時30分

場所 市役所大口庁舎本館2階

大会議室

携行品 印鑑及び筆記用具

問い合わせ先

選挙管理委員会 ☎21311

農業用廃プラスチック類の処理

農業用廃プラスチック類は産業廃棄物であり、排出事業者（農家）の自らの責任において処理するよう義務付け

られています。なお、野焼きや山林等への不法投棄はもちろん、自家焼却や自家所有地への埋め立ても禁止されています。

そこで、農業用廃プラスチック類の処理を次のとおり行います。

期日 9月9日（水）

時間

▽大口地区 8時～12時

▽菱刈地区 13時～15時30分

収集処分場所 (株)三宝保全

伊佐市大口宮人1191-73

☎2888

収集対象品目

農業用マルチフィルム、ハウス用・トンネル用被覆ビニール、農薬プラスチック容器、肥料袋、飼料ラッピングフィルム、育苗箱、育苗用ポット等
※農業用ビニール・フィルム等は裁断処理しますので、なるべく小さく折りたたみ、ビニール紐で縛り持ち込んでください。

処分料金 1㎡当り2、300円

産業廃棄物税 1t当り1、000円

経費負担割合

市・3分の1以内 農協・3分の1以内（補助限度額あり）

その他

○補助金は後日精算します。
○処分場に搬入する際は、処分料金と印鑑を必ずご持参ください。

○搬入物の検査、量の確認を行います。
※農業用廃プラスチック類等を運搬する場合、車両の表示及び書面の備え付けが必要です。不備の場合は罰せられることがあります。

詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先

伊佐地域農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会（事務局）北さつま農業協同組合伊佐配送センター

☎4111

農地中間管理事業第3期受付

農地中間管理事業を活用し農地の貸し借りをする人の受付は次のとおりです。

受付期間 9月1日（火）～30日（水）

申請・問い合わせ先

農政課農政第2係（菱刈庁舎）

☎21311

危険物取扱者試験

危険物取扱者試験とその受験準備講習会を次のとおり実施します。

危険物取扱者試験

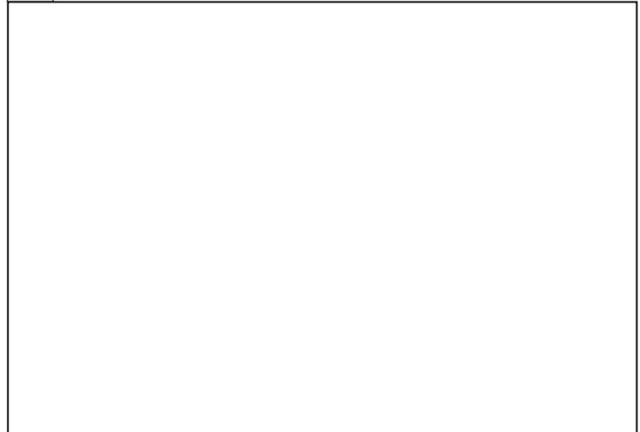
試験日時 11月21日（土）10時開始

9時30分着席

試験会場

鹿児島市・南九州市穎娃町・南九州市知覧町・薩摩川内市・出水市・霧島市・鹿屋市・西之表市・奄美市・天城

広告



町

試験の種類

▽甲種 危険物取扱者

▽乙種 危険物取扱者（乙種1～6類）

▽丙種 危険物取扱者

受験願書の申請方法、申請期間及び申請場所

(1) 消防試験センターに郵送の場合

10月2日（金）～13日（火）

※13日消印有効

(2) 消防本部・菱刈分遣所・南消防署・吉松分遣所に申込む場合

10月2日（金）～12日（月）

(3) 消防試験研究センターのホームページ
シ (<http://www.shoubo-shiken.or.jp>)

で申込み場合
9月29日(火) 9時～10月10日(土)
17時

伊佐湧水危険物安全協会主催試験準備講習会

種別 乙種第4類
日時 11月3日(火) 9時～17時
場所 大口ふれあいセンター
多目的ホール

受講料

2、500円(テキスト代含む)
※テキストのみの注文もできます。

受講申込

消防本部・菱刈分遣所・南消防署・吉松分遣所に受講料を添えて、10月12日(月)までに申込みください。

問い合わせ先

伊佐湧水消防組合消防本部予防課危険物係
☎0119

農業集落排水の整備

整備区域

菱刈中央・菱刈北部・平出水
農業用水路や生活排水路でも小魚等が住めるきれいで澄んだ水にするために、市は農業集落排水施設への接続を推奨しています。現在、汲み取り式便所や単独浄化槽を設置している家庭は、農業集落排水施設への切換えをご検討ください。

※接続できない場所もありますので、

詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先

建設課住宅・下水道係 ☎1311

「通信の未来」作文コンクール

これは国際電気通信連合ITUの150周年を記念して実施するものです。テーマは「20年後の情報通信の姿」です。

応募資格 中学生

募集期限 9月17日(木)

詳しくは、総務省ウェブサイト (http://ps://www.soumu.go.jp/joho_kokusai/ITU/ITU150.htm) をご覧ください。

応募・問い合わせ先

ITU作文コンクール事務局

☎0120・575・334

第55回 明光祭

日時 9月20日(日) 9時～15時

※荒天の場合は9月22日(火)

場所 大口明光学園

内容

ステージ発表・展示・バザーなど

問い合わせ先

大口明光学園 ☎0609

市内企業の求人情報を紹介

▽大口電子(株)(大口牛尾)

内容

電子部品、日射遮へいインク製造及び貴金属リサイクル関係

募集人員 5人

雇用形態 嘱託員

※社員への登用制度あり

条件等 詳しくはハローワークでご確認ください。

選考日 9月23日(水)

連絡先 ☎7511

▽菅公アパレル(株)(大口大島)

内容

ミシン・アイロン作業、製品検査

※初心者歓迎。

募集人員 1人

雇用形態 正社員(試用期間3か月)

連絡先 ☎6511

▽マルイ食品(株)大口工場(大口小木原)

内容 鶏肉カット・検品・包装

募集人員 3人

雇用形態 準社員

※パート希望の人はご相談ください。

勤務時間 ①8時～17時10分

②8時30分～17時40分

連絡先 ☎2901

問い合わせ先

企画政策課政策第3係 ☎1311

募集

伊佐市PRレディ・ボーイ募集

応募資格

市内に在住か勤務している心身とも

に健康で、市が行う各種イベントに参加できる18歳以上の人

委嘱期間 平成27年11月1日～平成28年10月31日

人員 若干名

申込期限 9月30日(水)

申込・問い合わせ先

伊佐市役所伊佐PR課 ☎4113

宮之城高等技術専門校推薦入校生募集

募集料名 室内造形科・建築工学科

応募資格 高校を来春卒業見込みの人

募集期限 9月25日(金)

選考日 10月2日(金)

問い合わせ先

県立宮之城高等技術専門校 ☎0996・53・0207

鹿屋高等技術専門校入校生募集

募集料名 電気整備科

応募資格

高等学校卒業業者(卒業見込者を含む)

募集期限 10月30日(金)

選考日 11月6日(金)

オープンキャンパス

9月14日(月)・10月14日(水)

問い合わせ先

県立鹿屋高等技術専門校 ☎0994・44・8674

第7回伊佐市文化祭

展示部門 一般参加者募集

展示日 11月2日(月)・3日(火)
 展示場所 伊佐市文化会館及び菱刈農業者トレーニングセンター

募集内容 絵画・書道・工芸・手芸作品等

展示スペースの関係で作品数に制限を設けることがあります。

募集期限 9月18日(金)

申込・問い合わせ先

伊佐市文化協会事務局(社会教育課内)

☎261554

青年就農給付金(経営開始型)

対象者への指導活動員募集

勤務先 農政課(菱刈庁舎)

業務内容

対象者を巡回して、目標達成に向けた指導

○栽培技術について

○農業経営について(農地・資金・経理・事業導入等)

○その他農政課が必要と認める業務

勤務日数 月5日以内

勤務時間 8時30分～17時15分

賃金 月額6,000円

社会保障 なし

応募資格 次の事項に該当する人

○昭和30年4月2日以降に生まれた人で、市内に居住する人

○普通自動車運転免許を持つ人

○水稲・園芸作物等の栽培技術指導のできる人

○パソコン操作(エクセル・ワード)ができる人

募集人員 1人

採用 平成27年10月1日～平成28年3月31日

選考方法 面接

応募方法

自筆の履歴書(市販のものに上半身写真貼付)を提出してください。

募集期限 9月15日(火)17時

※郵送の場合は同日必着。

提出・問い合わせ先

〒895-2701

伊佐市菱刈前目2106

農政課農政第2係(菱刈庁舎)

☎231311

始良高等技術専門学校推薦入校生募集

募集

募集科目

メカトロニクス科、情報処理科

応募資格 高校を来春卒業見込みの人

募集期限 9月25日(金)

選考日 10月2日(金)

問い合わせ先

県立始良高等技術専門学校

学校給食調理業務嘱託員募集

☎0995・65・2247

業務内容

調理業務、給食配送・回収業務、食器・食缶の洗浄業務、給食センター所長の指示する業務



募集人員 2人

応募資格 市内に住所を有し、次の事項に該当する人

○10月1日現在で満60歳以下の人

○普通自動車免許を取得している人

○健康で協調性のある人

勤務日数 年118日

勤務時間 8時～16時45分

雇用期間 平成27年10月1日～平成28年3月31日

報酬 月額165,100円

その他 社会保険・厚生年金・雇用保険・労災あり

応募方法

自筆の履歴書(市販のものに上半身写真貼付)1通を9月15日(火)までに提出してください。(郵送の場合は、同日必着)

選考方法 面接

提出・問い合わせ先

〒895-2703

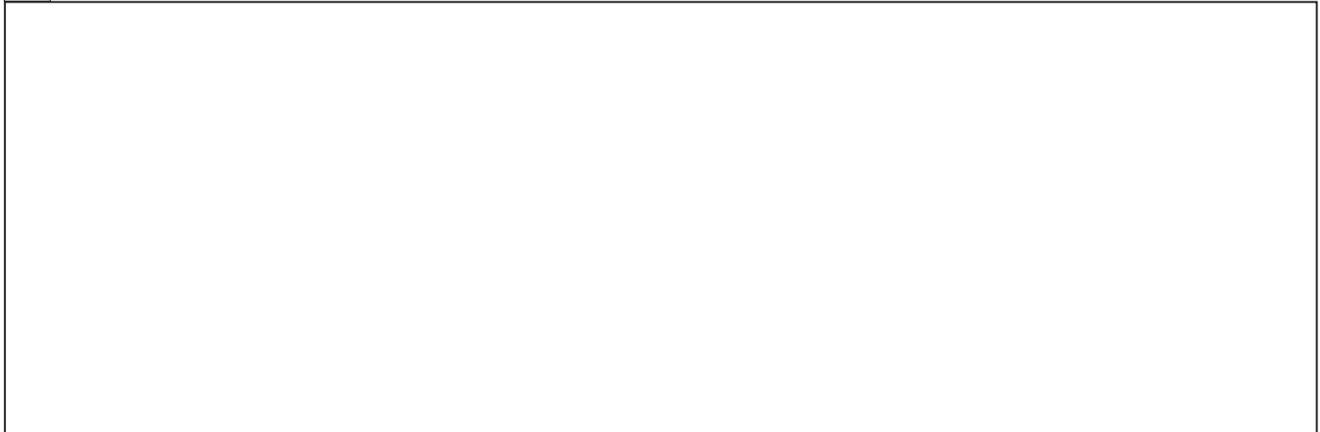
伊佐市菱刈花北1084

学校給食センター

☎241223

☎241223

広告



誕生



(7月6日～7月30日受付分)

岩下 陽樹 (満・停車場)
 沖田 歩輝 (史耶・朝日町)
 國料 朱莉 (勇作・笠松)
 坂元 優介 (広幸・西原)
 新留 怜菜 (亮・大田)
 立和名 花恋 (紘太・花北下)
 豎山 笑心 (貴文・千束松)
 作田 蓮 (啓行・下馬場)
 恒吉 智仁 (肇・川西)
 新原 星夏 (祐貴・重留東)
 西川 心叶 (大史・山田)
 福島 ひまり (悠希・富ヶ丘)
 水溜 大貴 (智幸・諏訪馬場)
 溝口 涼介 (優太郎・花北下)
 宮ノ前 宗芽 (義昭・小木原上中)
 吉加江 瑛太 (光信・朝日町)

大口地区 (7月1日～7月31日受付分)
 赤崎 謙治 73 (篠原)
 池ノ上 昭典 86 (西原)

一下 玲子 91 (一ノ渡瀬)
 江口 松男 84 (諏訪馬場)
 面高 重義 96 (奈良野)
 瀬戸口 勝義 91 (大田)
 大宮司 光男 97 (牛尾)
 鶴田 幸子 67 (里町)
 永山 トミ 100 (大道)
 松下 博文 85 (上青木東)
 山野地区
 井立田 サチ 92 (小木原上中)
 木地山 隆則 99 (向江)
 鶴田 梅香 85 (仲町)
 丸田 ナミ子 92 (敬寿園)
 築瀬 ミツエ 94 (日東)
 羽月地区
 谷口 爵生 76 (麓町)
 宮永 均 89 (崎山)
 西太良地区
 折田 愛子 97 (諏訪)
 菱刈地区
 有村 春香 81 (楠原上)
 亀甲 昭次 80 (重留西)
 北鶴 恭啓 70 (下荒田)
 木場 修 65 (小川添)
 重信 好子 79 (花北下)
 永福 チラ 97 (瓜之峰)
 船方 光男 71 (薬師)
 桃木 ソデ 90 (停車場)
 山下 みち子 60 (共進)

交通規制の変更

大型自動車及び大型特殊自動車の交通規制が変更となります。

- ①国道 268 号旧大口市街地方面から重富南交差点の県道 53 号線への右折が規制されます。
- ②県道 53 号線湧水町方面から前目バス停前交差点から旧菱刈市街地方面への直進が規制されます。

規制時間 22 時～5 時



当分の間は周知期間のため、取締等はありませんが十分気をつけてください。

問い合わせ先 総務課交通消防防災係 ☎231311

サイレン吹鳴

9月6日(日)

午前8時に、伊佐市全域でサイレン吹鳴を行います。

これは、風水害を想定した伊佐市総合防災訓練のため行うものです。火災とお間違いないようご注意ください。

問い合わせ先

総務課交通消防防災係

☎231311



広告

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係

☎4113

✉koho@city.isa.lg.jp



先月、伊佐市役所で職場体験をしました。「ふるさと納税」や「ふるさと会」などの説明を受け、これまで知らなかったことを学びました。「ふるさと会」は、伊佐にゆかりのある方々でできている会で、関東や関西など全国に7か所あるそうです。伊佐市出身者でふるさとを思い交流を深められる素敵な会です。私も大人になってふるさとを離れても、この会の皆さんのように自分の「故郷」を大切に思う気持ちを忘れずにいたいです。(さつま町 M・I 10代)

1歳4か月の息子、初めの一歩が楽しかったです。「歩き出せば早かど」と両親から聞いていた通り、ある日突然ムクツと立ち、一歩・二歩と歩きだしました。今では家中を徘徊し、隣の部屋で急に寂しくなって泣きだしたり、私を見つけ満面の笑みで抱っこをせがんだり、世界が広がった彼は毎日楽しそう。それに「どこ行こうか。動物園

かな、海かな」と夫婦の会話も広がります。息子の成長に感心する毎日、元気にやんちゃに成長してね。(大口 みたらし団子 30代)

最近、県外の大学に進学した友人が、その地方の方言をよく口にするようになりました。電話やメールで方言を使われると、私も負けじと、わざとらしく、かごんま弁をフル活用します。そうすると、友人は懐かしがってテンションがあがります。新生活を楽しんではいるけど、やはり伊佐が恋しくなるようです。9月に伊佐へ帰ってくと、一言づつ聞いていたので、友人と一緒に改めて鹿兒島を満喫しようと思います。(山野 りんご 20代)

Mさん、笑顔で頑張ってくださいね。将来どこで活躍しているでしょう。故郷は変わらぬことにありますよ。

nagomi no hiroba

発行/伊佐市役所
〒895-2511 鹿兒島県伊佐市大口里1888番地
Tel 0995-23-1311 Fax 0995-22-5344
編集/伊佐PR課
http://www.city.isa.kagoshima.jp/ info@city.isa.lg.jp
Tel 0995-29-4113 印刷/大口新生社印刷

人口のうごき
(住民基本台帳から)

H27. 8. 1 現在 (前月比)

総人口	27,763 人	(- 19)
男	12,842 人	(- 15)
女	14,921 人	(- 4)
世帯数	13,898 世帯	(- 11)

編集後記

戦後70年、特集も組まれ戦争の歴史や復興について知る機会が多くあります。これまでには、戦没者追悼式を取材し遺族の悲しみや戦争の悲惨さを見聞きすることで、しばらくは考える時間を持ちますが、関心は徐々に薄れ日常に戻ってしまう。この繰り返しでした。節目の今年には連載を始め、学童疎開に関する記念誌づくりも進めています。素材集めのため訪ねた戦争体験者は70代後半から80代、涙することや微笑ましい話、当時の生活の知恵など知らなかったことを沢山教えていただいて、こんなに深く心が震える話を独り占めしてはいけないと強く感じます。亡くなった祖父から唯一聞いた戦地の話は「真っ赤になつた飯を食べた」ということ。子ども心に祖父がどうやって生き延びたのか想像し、とにかく胸が痛いと感じた記憶だけです。今なら感じ方も違おうし、そこから平和の大切さも理解できると思います。もっと聞いておけばよかった、でも話したくなかったのかもしいない。祖父の話聞くことは叶いませんが、当時を知る方の話を伝えることはできます。皆さんからの情報提供をお待ちしています。